

国立研究開発法人

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

令和6年度 ACC 研修 実地研修 HIV 看護 専門コース

募集要項・シラバス



2024年5月1日

目次

I. エイズ治療・研究開発センター(ACC)について ... 2	IV. 個人情報の取り扱いおよび著作権について6
診療科の特徴 2	個人情報の取扱い.....6
薬害エイズとは 2	著作権.....8
II. 専門コースについて 3	V. よくあるご質問.....9
概要 3	申し込みについて.....9
募集要項..... 3	受講について 9
募集期間..... 4	研修修了レポートについて.....9
申し込み方法 4	単位認定について10
申し込み後について 4	
III. 受講の流れ..... 5	

I. エイズ治療・研究開発センター(ACC)について

エイズ治療・研究開発センターの理念

患者の人権と尊厳を重視した「患者中心」の医療を心がけ、高度かつ最先端の医療を実践します。

1. 多職種からなる医療チームで情報を共有し、安全かつきめ細やかな医療を目指します。
2. 安心・納得して医療を受けられるよう、病状や治療内容についての分かりやすい説明を心がけます。
3. 国内外の最先端医療を積極的に取り入れ、最高レベルの医療の提供を目指します。

エイズ治療・研究開発センター(AIDS Clinical Center, ACC)は、薬害エイズ訴訟の和解をふまえ、被害者救済の一環として1997年4月1日、国立国際医療センター(当時)に設置されました。ACCは外来・病棟・治療開発室・医療情報室の4部門からなり、国内外のHIV感染症治療・研究機関との連携のもと、HIV感染症に対する高度かつ最先端の医療提供とともに、新たな診断・治療法開発のための臨床研究・基礎研究を行っています。また、日本におけるHIV感染症診療の水準向上を図るために、最先端の医療情報の提供や、医療従事者に対する研修を行っています。

診療科の特徴

医師、外来・病棟看護師、HIVコーディネーターナース、薬剤師、心理療法士、歯科衛生士、ソーシャルワーカー等の多職種によるチームできめ細やかなHIV感染症の包括的な診療を行っています。

また、医療従事者を対象としてHIV感染症の基礎から応用まで、レベルに応じて学べる各種研修を定期的を実施しています。

薬害エイズとは

1980年代初め、血友病などの血液凝固因子異常症の患者にHIV(ヒト免疫不全ウイルス)が混入されていた輸入非加熱血液凝固因子製剤を投与され、HIVに感染した薬害被害のことで、

当時多くの患者にHIV感染が告知されていなかったため、妻や子供への二次・三次感染も引き起こしました。日本の薬害エイズ被害患者は1,433名で、既に30年以上経過し半数が亡くなり、生存者数は691名と報告されています(令和5年度血液凝固異常症全国調査より)。1990年代はエイズ発症による死亡が多くみられましたが、それ以降、HIV/HCV重複感染による肝硬変や肝がんの死亡が多い中、近年、生活習慣病や悪性疾患の合併、頭蓋内出血例がみられています。

1989年、東京/大阪 HIV 訴訟原告団と弁護団は、東京と大阪の地方裁判所に旧厚生省と製薬企業5社に対し被害の責任を問い提訴し、1996年3月29日に和解が成立しました。ACCは、和解確認書を踏まえて恒久対策の一環として設置され、HIV感染症の治療や研究とともに医療従事者に対する研修(ACC研修)を通して、我が国におけるHIV感染症の医療水準の向上を目指しています。

II. 専門コースについて

ACC では、HIV 感染者の診療・看護等の実務を担う医療従事者の育成および全国ネットワークの構築を目的として各種研修を行っています。

令和 5 年度からオンライン研修とは別途、HIV コーディネーターナース(以下、HIV-CN)の育成として実習を含む HIV 看護の専門コースを開始し、プログラムの一部を独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター(以下、NHO 大阪医療センター)と合同で行います。

また公益財団法人エイズ予防財団主催の中核拠点病院連絡調整員養成事業(以下、中核事業)も兼ねています。

本コースは、日本エイズ学会が指定するコーディネーターナース研修に該当します。

概要

オンデマンド講義動画をすべて視聴し、講義視聴記録の作成と ACC での実習(3 日間)を行います。

ケースレポートの完成に向けて、ライブ講義で療養支援に関する意見交換を行います。

ケースレポート、研修修了レポートの提出により修了証を発行いたします。

留意事項

- お申し込みの際に医療従事者であることの確認のため、所属施設の施設長の推薦がある『別紙1 HIV 看護 専門コース 推薦状 兼 申し込み書』をご提出いただきますのでご了承ください。
- 専門コースと中核事業の申し込みを合わせ、受講者が各期の定員を上回った場合に、応募先の HIV 診療・看護体制を踏まえ、選考のうえ受講可否を決定します。
- 応募先により NHO 大阪医療センターでの研修受講を紹介させていただくことがあります。
- 結果は募集期間終了日より約2~3週間程度でご連絡を申し上げます。
- 募集期間外のお申し込みはお受けいたしかねます。

募集要項

目標 | 包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外の多職種と協働し、チーム医療の要として機能する HIV-CN の役割・活動が理解できる。

対象 | 現在勤務する医療機関等で、主として HIV 感染症患者の外来看護に携わる実務担当者であり、研修修了後も継続的に HIV 看護の実務担当者、指導者として携わる以下の者。

1) ACC またはブロック拠点病院が開催している応用レベルの研修(申し込みから 5 年以内)が修了していること。

*研修修了後から 5 年以上経過している場合は、各自 HIV 感染症の治療及び看護についての最新情報の習得等、自己研鑽の上、お申し込みください。

2) 診療報酬「ウイルス疾患管理料2」の加算ができる施設(あるいは算定の方針である)の施設長が推薦する HIV 実務担当看護師またはその候補者。

3) 研修修了後に患者の療養支援に継続的に関わる者

定員 | 前期 2 名/後期 2 名

費用 | 無料(研修に係る旅費・宿泊費については、各自でご負担ください。)

期間 | 前期(9—11 月)、後期(12 月—翌年2月)

応募した期の期間内で、1 か月目にオンデマンド講義動画の視聴、2 か月目に ACC で3日間の実習(カンファレンスの都合上、月・火・水)、3 か月目にケースレポートのライブ講義を予定しています。

実施会場 | 国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

交通アクセス(国立国際医療研究センターHP): <https://www.ncgm.go.jp/access/index.html>

取得できる単位 | 日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師 各コーディネーターナース研修20点

募集期間

令和 6 年6月 17日(月)から7月5日(金)正午迄

応募が少ない場合に、追加募集を検討し、ホームページ上でお知らせいたします。

申し込み方法

『別紙1 HIV 看護 専門コース 推薦状 兼 申し込み書』を指定期日内に郵送・FAX・メール等で下記宛先に送付してください。

問い合わせ・送付先

〒162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター ACC 研修事務局

TEL:03-3202-7181(代表)

FAX:03-3208-4244

MAIL: seminar@acc.ncgm.go.jp

お問い合わせフォーム: <https://forms.office.com/r/Ab5xTtAP3L>

※ お問い合わせの際は、必ず所属施設名、氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

申し込み後について

申し込み後に選考のうえ受講の可否をご案内致します。また、受講生につきましては『別紙2 易感染性患者入院診療科病院見学/実習誓約書』を所属施設に郵送致します。必要事項を記載後、実習前までに必ず提出してください。

III. 受講の流れ

	項目	内容
	受講の申し込み	募集期間にお申し込みください。 選考のうえ、受講の可否を通知します。
	学習サイト ID の付与	
1 か 月 目	オンデマンド講義動画の視聴 講義視聴記録の作成	・オンデマンド講義ごと(全部で 8 講義)に 200 字程度の学習したことを記載した講義視聴記録(様式 1)を作成してください。 ・実習の 1 週間前までにオンデマンド講義動画の視聴及び講義視聴記録の作成が完了しない場合は実習およびライブ講義へ参加いただけませんのでご了承ください。
	チェックリストの提出 ケースレポートの提出 ケースの選択の相談	・実習前に以下の 2 点について PW をつけて提出してください。 ① チェックリスト(様式 2) ② 自施設のケースをまとめたケースレポート(様式 3) ・実習前にケースの選択や課題について、指導者から提案することがあります。
	実習(3 日間)	・実習初日にチェックリスト(様式 2)を持参してください。 ・実習中にケースレポート(様式 3)の指導を受けてください。 ・実習日ごとに実習記録(様式 4)を提出してください。
2 か 月 目	ケースレポートの作成	・指導者と電話やメールでやり取りしながら、ライブ講義用にケースレポート(様式 3)をまとめます。
	ライブ講義の受講	・発表用ケースレポート(様式 3)に PW をつけて提出してください。 ・ライブ講義にてケースレポート(様式 3)の発表と意見交換を行います。
3 か 月 目	ケースレポート(最終版)の作成 研修修了レポートの作成	・ライブ講義での意見を反映し、チェックリスト(様式 2)、最終的なケースレポート(様式 3)、研修修了レポート(様式 5)を合わせて提出してください。
	修了認定	・研修修了レポート(様式 5)の提出後、2-3 週間後にご登録のメール宛に修了証を PDF 形式で送付いたします。

IV. 個人情報の取り扱いおよび著作権について

個人情報の取扱い

ACC e-learning サイトの運営(以下、「本サービス」といいます)において、利用者の皆様(以下、「会員」といいます)から提供いただく個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律および関連法令を遵守し、以下規約に基づき適正に対応します。

第1条 個人情報の定義

本サービスにおける個人情報とは、個人に関する情報であり、当該情報に含まれる氏名、生年月日、住所をはじめ電話番号、電子メールアドレスなど個人が保有する番号・記号その他の符号、画像もしくは音声により当該個人と識別できるものとします。当センターでは組み合わせることによって個人が識別できるものも個人情報として取り扱います。

第2条 利用目的

第1項 当センターは、取得した個人情報を以下に定める利用目的の達成に必要な範囲内で利用します。

本サービスの提供および運営のため

HIV 感染者、AIDS 患者への医療提供を目的とし、他の医療機関等との連携を図るため

講座開講や申し込み状況に関するメールリスト配信、本規約またはサービス内容の変更など各種ご案内のため会員への本人確認、本人認証のため

お問い合わせへのご対応のため

利用動向の調査、統計、分析のため

新サービス、新機能の開発のため

システムの維持・改善、不具合対応のため

第2項 当センターは、前項の利用目的を、関連性を有すると合理的に認められる範囲内において変更することがあり、変更した場合には会員に通知又は公表します。

第3条 個人情報の第三者提供

当センターは、以下の場合を除き会員の同意を得ずに取得した個人情報を第三者に提供することはありません。

法令に基づく場合

人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき

公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、会員の同意を得ることが困難であるとき

国の機関もしくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、会員の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

第4条 個人情報の適正な取得と提供の任意性

当センターは、会員本人の同意を得たうえで適正に個人情報を取得します。会員がサービスを利用する上で当センターに提供する個人情報の項目は任意ですが、必要となる項目を提供しない場合、または偽りその他の不正の手段によって個人情報を提供する場合、求めるサービスを受けられないことがあります。

第5条 個人情報の安全管理

当センターは、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などのリスクに対して、個人情報の安全管理が図られるよう、当センターの職員に対し、必要かつ適切な教育・管理・監督を行います。また、当センターは、個人情報の取扱いの全部又は一部を委託する場合は、委託先において個人情報の安全管理が図られるよう、必要かつ適切な監督を行います。但し、本サービスを利用するにあたって取得して頂くアカウント、パスワードの管理は、利用規約に従って、会員の自己責任で管理して頂くものとします。

第6条 個人情報の開示

当センターは本サービスの運営に関し、会員から、個人情報保護法の定めに基づき個人情報の開示を求められたときは、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、会員に対し、遅滞なく開示を行います(当該個人情報が存在しないときにはその旨を通知いたします。)。但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが開示の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第7条 個人情報の利用停止等

当センターは、会員から、会員の個人情報が、あらかじめ公表された利用目的の範囲を超えて取り扱われているという理由又は偽りその他不正の手段により取得されたものであるという理由により、個人情報保護法の定めに基づきその利用の停止又は消去(以下、「利用停止等」)を求められた場合において、そのご請求に理由があることが判明した場合には、会員ご本人からのご請求であることを確認の上で、遅滞なく個人情報の利用停止等を行い、その旨を会員に通知します。

但し、個人情報保護法その他の法令により、当センターが利用停止等の義務を負わない場合は、この限りではありません。

第8条 Cookie(クッキー)その他の技術の利用

本サービスではウェブサイト閲覧動向等の情報を収集・分析し、それらの結果を元にサイトコンテンツの向上を図ることを目的に Cookie 及びこれに類する技術を使用していますが、これらにより収集されたデータは個人を特定できるものではなく、プライバシーを侵害することはありません。また、Cookie はご自身で無効にする設定を行う事が可能です。無効化を設定した場合の利用者の損害等について、本サービスおよび当センターは一切の責任を負うものではありません。

第9条 セキュリティに関して

会員の情報は会員のプライバシー保護及び、セキュリティの為パスワードで保護されています。当センターは第三者によるデータ転送から個人情報等を保護する為、業界標準の SSL 暗号を使用します。

第10条 利用規約の改正について

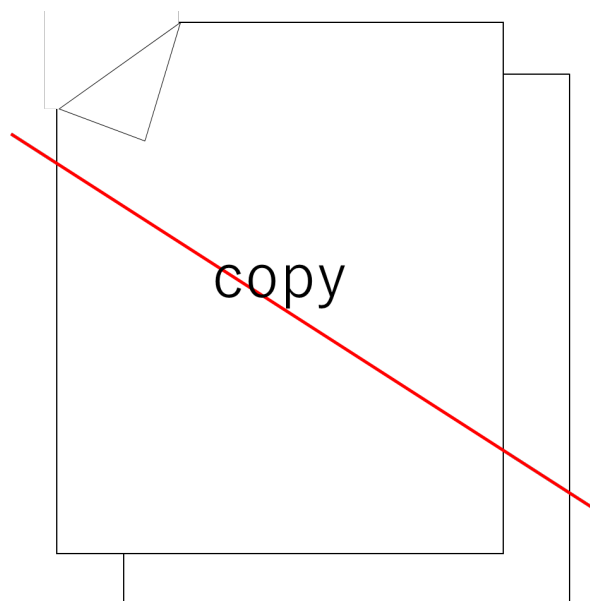
当センターは個人情報の取扱いに関する運用状況を適宜見直し、継続的な改善に努めるものとし、利用規約の一部または全部を改定する場合がございます。重要な変更がある場合には、サイト上でお知らせします。

第11条 本サービスの利用および個人情報の取り扱いに関する問合せ

本サービスの利用および運営上の個人情報の取り扱いに関するご意見・お問合せ等がございましたら、研修事務局までお問い合わせください。

著作権

サイト内のコンテンツ(文章・資料・画像・音声等)は、特に記載のない限り国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センターまたは第三者が保有します。営利・非営利を問わず、内容を許可なく複製、転載、販売などに二次利用することを禁じます。



V. よくあるご質問

申し込みについて

- 申し込みから受講開始までの期間を教えてください。
 - > 募集期間終了後より選考を行い、約2～3週間程度で受講の可否をお知らせします。受講開始は、前期が9月1日から、後期は12月1日からとなります。
- ACC e-learning になる以前の対面研修で基礎コースを受講しました。専門コースの受講はできますか？
 - > 専門コースは、応用コース受講後が要件となっております。HIV 感染症の治療は日々変化しており、講義内容も随時見直しを行っています。まずは応用コースの受講をご検討ください。

受講について

- 受講に係る費用は無料ですか？
 - > 無料で受講いただけます。ただし、オンデマンド動画の視聴やライブ講義への参加にかかる通信料や実習のために必要な出張費(宿泊費、交通費など)は受講生へご負担いただけます。
- ケースレポートはどのようなものですか？
 - > 自施設のケースを挙げて作成いただき、実習開始前に提出します。内容によっては、ケースの選択を相談させていただくことがあります。ライブ講義でケースレポートについて意見交換し、指導担当者とメールおよび電話にて確認しながら最終版を提出していただけます。
- ライブ講義はどのようなものですか？
 - > オンライン(teams を使用予定)で自宅等よりご参加ください。NHO 大阪医療センターと合同で実施します。実習後に作成したケースレポートの発表、アクションプラン立案などを行います。
- ライブ講義に参加できません。どうしたらいいですか？
 - > 専門コースは、オンデマンド講義動画視聴から実習、ライブ講義の受講の一連の流れをすべて修了した方について修了認定をします。一部不参加(不視聴)の場合には、修了認定はいたしかねます。やむを得ない事情により急遽参加予定のライブ講義へ参加ができない場合には、なるべく早く ACC 研修事務局へご相談ください。

研修修了レポートについて

- レポートとは具体的にどのようなものですか？
 - > ライブ講義終了後、ライブ講義に対するご意見および HIV 看護研修 専門コース全体に対するご意見を頂戴しています。

単位認定について

- 単位申請に関するお問い合わせはどこにしたらいいですか？
 - > ACC 研修受講後の単位申請に関するご質問は、申請先である学会へお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。また、学会への単位申請はご自身での申請をお願いいたします。

コース名	専門コース	対象	応用研修修了者
公開時期	令和6年4月	総講義時間	オンデマンド講義動画約8時間+実習3日間24時間+ライブ講義1人1時間+ケースレポート作成・指導1時間半+最終提出用レポート作成1時間
定員数	前期2名/後期2名		
講義形式	オンデマンド動画視聴/実地研修/レポート/ライブ講義		
修了認定要件			
オンデマンド動画視聴と実修を行い、ケースレポート発表と提出をもって修了認定とする。			
各団体 認定単位数			
日本エイズ学会認定HIV感染症看護師・日本エイズ学会認定HIV感染症指導看護師の各コーディネーターナース研修 申請予定			
コースの概要とねらい			
HIV感染症看護の専門的な講義と外来や病棟での実習を行い、ケースレポート作成と発表の構成とする。包括的な患者支援の実践に必要な知識とスキルの習得、院内外の多職種と協働し、チーム医療の要として機能するHIV-CNの役割・活動が理解できる。			
到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・倫理的または複雑な課題に対して情報を適切に収集し、包括的な視点でアセスメントできる。 ・患者ニーズとHIV感染症患者の特徴を踏まえ、患者や家族等支援者、院内外の多職種連携による効果をアセスメントできる。 			
プログラム等			
① オンデマンド動画視聴			
	(講義動画名)	(講師)	(時間)
	HIV診療・看護体制	池田	0:27:51
	HIV-CNの役割と活動	池田	1:29:10
	薬害HIV感染者の支援Ⅰ	大金	1:00:33
	薬害HIV感染者の支援Ⅱ	大金	1:03:53
	HIV看護専門 療養支援Ⅰ 患者教育	東(NHO大阪)	0:50:23
	HIV看護専門 療養支援Ⅱ 服薬支援	東(NHO大阪)	0:51:31
	HIV看護専門 療養支援Ⅲ サポート形成支援	谷口/栗田	1:08:39
	HIV看護専療養支援Ⅳ	杉野/鈴木	1:07:09
	(計8講義)	(合計)	7:59:09
② 実習			
	3日間(活動見学、各種カンファレンス参加(外来・入院・多職種))		3日間(24:00:00)
	*カンファレンスの都合上、月・火・水とする。		
	*ライブ講義前にケースレポート作成・指導(電話・メール等)	指導担当/調整職	作成・指導 1:30:00
③ ライブ講義			
	ケースレポート(様式3)に自施設の1事例をまとめ、報告する。		1人あたり 1:00:00
④ 最終提出用レポート等作成			
	ライブ講義による意見交換を踏まえ最終版のケースレポート(様式3)とチェックリスト(様式2)、研修修了レポート(様式5)を提出する		1:00:00
実施スケジュール			
1か月目① オンデマンド動画視聴			
実習の約1週間前の指定期日までにすべての動画を視聴する。			
講義視聴記録(様式1)を提出する。			
実習前にチェックリスト(様式2)とケースレポート(様式3)を提出する。			
2か月目② 実習			
	【前期】	10月の指定する日	
	【後期】	1月の指定する日	
実習日は、実習記録(様式4)を記載し翌日指導者へ提出する。			
3か月目③ ライブ講義・レポート			
ライブ講義より約1週間後の指定期日までに研修修了レポート(様式5)を提出する。			
備考			
研修期間は原則開始から3ヶ月以内とする。			
最終更新日		管理コード	